

令和6年度(2024年度)

自己点検・評価報告書

令和6年(2024年)4月 1日から
令和7年(2025年)3月31日まで

令和7年(2025年)5月23日実施

学校法人吉田学園
吉田学園公務員法科専門学校

1. 学校の教育目標

学校目標:『選ばれる人財』

接遇に長けた人財

他人を思い遣る心を持ち、心地好い挨拶、ビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につける

社会適応力の高い人財

チームワーク力、行動力、思考力、判断力を身につける

優れた専門性を持つ人財

高度な専門知識、専門技術を身につける

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

入学者目標:入学者 111 名

- ・オープンキャンパスにおいて、本校の特徴がアピールできる複数の体験内容を構築する。また、学生スタッフ勉強会を実施し、在校生を積極的に活用する。
- ・無料配付テキスト等による高校サポートを徹底し、高校とのパイプ強化を図る。
- ・高校生向け講習会について担当制を継続し、受験情報や受験指導の提供を行い参加者の満足度を高める。

在籍率向上目標:在籍率 96.0%

- ・新生生に対し早期面談を実施し、特に不登校等の経緯がある者に対しては学内で情報共有を図る。
- ・全クラスに副担任を置き、学年毎の定期ミーティングにより、細目な学生状況把握に努め、教員同士の協力体制を構築する。
- ・出席不良者に対し、段階的な学内指導を実施する。
- ・モチベーションを維持させるための学校イベント、教育イベントの実施と充実を図る。
- ・適宜、保護者と連絡を取り、学校・保護者間の協力支援体制を機能させる。

資格取得率目標:

① 公務員一次合格率 95%以上

- ・各試験について調査・分析を継続し、変化に対応した受験支援を行う。
- ・予習システムの導入を開始し、補助教材、授業、補講の見直し、改善を図る。また、グループワークを取り入れ学生の協調性の向上及び成果の検証を行う。

- ・ICT 教育の更なる内容改善、新たな取組を検討し実施する。また、SPI 試験対策ソフトの導入と検証を行う。

② 公務員二次合格率(対在籍者)85%以上

- ・各官庁の二次試験形式の調査・分析を継続し、学生へ情報提供しながら、きめ細やかな受験支援(面接指導)を行う。
- ・本試験を想定した模擬面接会、模擬集団討論会の更なる質の向上を図る。
- ・ICT を活用し、面接対策のシステム構築を行う(教習申込、指導カルテの共有)。

就職率向上目標:就職希望者 95%以上 卒業生者 90%以上 専門就職率 75%以上

- ・公務員としてのやりがい・魅力を確認させる機会を設け、目標シートを活用しながら、将来の夢・希望に向けた取組を行う。
- ・効果的な教育イベントを開催するなど、学生のモチベーションを上げる施策を行う。
- ・ICT を活用し、試験情報及び面接対策情報を適宜学生へ提供する。
- ・様々な理由で就職(受験)活動が停滞している学生を学校全体でフォローアップし、就職率の向上を図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
1	1	中 項 目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)			
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	4	学則、その他教育上の目的を定めた規程、HP、学生便覧
1	1	2	学生・保証人等(父母等)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	学校・学科(理念・目的)を紹介するパンフ、HP、学生便覧
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	学園理念、教職員七訓、学生便覧、HP、学園目標、学校目標
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	HP、パンフレット、募集要項
1	2	中 項 目	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)			
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者とそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	4	HP、学生便覧、学習要項、教育課程編成委員会議事録
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	4	ニーズ調査アンケート、教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、HP
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	学生便覧、HP、シラバス、学則別表2

①現状・課題

1-1：理念・目的・育成人材像については HP・共有ドライブ内（学内公開データ）で公表している。学生に対しては入学前にはオープンキャンパス内で、入学時には新入生ガイダンスにて学校の方針を伝える場を設けている。保護者へは入学時に保護者ガイダンスを実施している。

1-2：学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会の他、官庁による職種説明会を実施することで社会や関連業界のニーズについて学生だけでなく教員においても情報収集につながっている。

②今後の改善方策

③特記事項

2 学校運営				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
2	1	中 項 目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）			
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営 方針が策定されているか	A	4	学校における年度ごとの教育 方針を示す資料、理事会議事 録、管理運営に関する方針を学 内で共有した資料、学園目標、 学校・部署目標シート
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、 また必要に応じてその理解の状況を 確認しているか	B	4	職員会議議事録、学校計画 書、運営更新発表会議事録、 寄付行為、その他教学運営等 の教職、共同の取組み事例の 資料、業務分掌
2	2	中 項 目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）			
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し 共有しているか	A	4	事業計画書、理事会・評議員会 議事録、事業計画書を共有した 資料、学園目標、学校・部署目 標シート
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	年間行事予定表、学則等（授業 時間）外部実習の履修指導等 のガイダンス資料
2	3	中 項 目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）			
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法 人）、学校の運営規程等が整備され、 それらに従って理事会・評議員会（法	A	4	理事会会議規則、学校の運営 規程、理事会・評議員会の議事 録、理事・評議員会名簿、学

			人)、学校の運営会議等が開催されているか			校・学科・学年単位の会議議事録等
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	組織規程、決裁権限規程、稟議規程、分掌表
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	学校の組織図、校務、分掌表
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	B	4	年間行事予定表、教職員会議議事録、教育会議等の規定、運営会議議事録
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	4	出勤簿、勤務予定表、就業規則
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	4	健康診断の案内、健康診断実施記録、就業規則、特定健康診断結果一覧
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	4	施設設備保守・管理点検表
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取り組みを行っているか)			
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	資格・要件等採用基準、学校が求める教員像・教員の役割・教育責任の所在に関する考え方を共有した資料、教職員名簿、実務経験者一覧表、教員資格認定書
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	HP、求人申込書、求人、広告の記録(求人サイト)、教育訓練の記録、授業科目と担当教員の適合性を判断する制度・判断した実例を示す資料、研修計画、面談・指導記録
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	実施体制組織図、授業評価の帳票、フィードバック記録、授業アンケート
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	講師会議議事録、教員、教員組織の適切性を検証したことを

						示す各種委員会、改善・向上に向けた取組が分かる資料、組織図
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	研修報告書、SD・FDに関する学校の考え方、実施体制、実施状況が分かる資料、教員研修会実施資料、職業実践専門課程に係る研修会参加認定証書
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	4	研修報告書、授業科目と担当教員の適合性を判断する制度・判断した実例を示す資料、FD・SDに対する考え方、実施体制・実施状況が分かる資料、連携校視察及び意見交換会報告書
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	4	教員・講師面談記録、講師交流会資料、個人目標中期・期末面談記録
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	3	教員の研修計画・研修報告書、職業実践専門課程に係る研修会参加認定証書
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	4	教員・講師の研修計画書、新入教員研修会資料、教員研修会資料、業務分担表、ICT教育研究メンバーにおける打合せ議事録・提案書、学科ミーティング議事録
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	3	会議議事録、報告書、教務日誌、教員組織の適切性を検証したことを示す各種委員会、改善・向上に向けた取組が分かる資料

2	5	中 項 目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）			
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	就業規則、人事評価規程
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	給与規程、退職給与規程、旅費規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	人事評価規程、昇進昇格規程、給与規程、昇任に関して定めた規程
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	教職員採用規程
2	6	中 項 目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）			
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	導入されている情報システムの概要を示す資料、円滑な情報システムの運営に係る組織体制を示す資料・情報システム化に伴う教育会議の効率化や効果を示す資料

①現状・課題

2-1：年度初めに職員会議にて本校の教育目的と学園スローガンを照らし合わせた教育方針を策定し共有している。理事会や寄付行為等については未記載。

2-2：事業計画、理事会評議会議事録などについては不明につき未記入。年間行事予定表を作成し、学生・保護者へも提示して学校運営を行っている。

2-3：組織や意思決定機関については、定められた規定により効率的に運営されている。また、管理職での運営会議を定例で実施し、全体への周知を行っている。出退勤管理では、就業規則に則り勤務予定表を作成し管理を行っている。教職員の定期健康診断を年 1 回実施している。

2-4：公務員試験に関係する科目について、知識や経験等を持っている教員を確保して学校運営を行っている。また、新入教員へは別途研修会を実施し、全教員対象の教員研修会を毎年実施している。

2-4-24：研修会の参加機会が少ない。

2-4-41：非常勤講師とは授業実施毎に必要な応じて意見交換を実施しているが、口頭確認にとどまることが多いため、エビデンス資料がない。

2-5：人事・給与制度については評価制度含め全て規定に明記されている。

2-5-4：法人本部管轄

2-6：総合事務局、学校事務部

②今後の改善方策

2-4-24：本教員に必要と考えられる、研修会への参加機会をつくる。また、教育課程編成委員（外部委員）の講話や、関連団体（各官庁、自治体）の説明会参加も指導経験が浅い教員には有効と考える。

2-4-41：細かな打合せでも記録に残し全員で共有する。

③特記事項

3 教育活動			カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
3	1	中 項 目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)		
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4 カリキュラムポリシー、HP、学生便覧、CP 検証時の議事録、教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4 カリキュラムマップ、カリキュラム、教育課程の体系性を示す学協会等が定めるモデルカリキュラムとの関係性を示した資料、教育課程編成表
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4 ディプロマポリシー、HP、学生便覧、DP 検証時の議事録、学校関係者評価委員会議事録
3	2	中 項 目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)		
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4 カリキュラムマップ、カリキュラム、履修要項、シラバス、学協会等が定めるモデルカリキュラムとの関係性を示した資料、教育課程編成表
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	4 シラバス

3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	コマシラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	B	4	HP、シラバス、講義概要、学生便覧、授業報告書
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	4	評価マニュアル、授業評価報告書、成績評価基準に関する教員間の申し合わせやその運用事実が分かる資料、学生便覧、シラバス、成績単票
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	授業評価チェックシート、授業観察報告書、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組を示す資料、教育の運用にあたる各種委員会の活動が分かる資料、公開授業計画、公開授業報告書
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	B	4	授業アンケート、卒業時アンケート、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組を示す資料、教育の運用にあたる各種委員会の活動が分かる資料
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	フィードバックの記録、シラバス、改善活動の記録、授業アンケート結果表、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組を示す資料(振り返りと改善方法)
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか(カリキュラム作成委員会等)	B	4	カリキュラム作成委員会組織図、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組を示す資料、教育の運用にあたる各種委員会等の活動が分かる資料、学科会議議事録

3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	教育課程編成委員会議事録、カリキュラム検討委員会議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	シラバス
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	3	カリキュラムマップ、実務家教員シラバス・企業との協定書、連携実務実習に係る実施計画・実施協定書および実施に係る責任体制が分かる資料
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	教育課程編成委員会議事録、カリキュラム検討委員会議事録、実習報告書、連携実務実習に係る実施計画・実施協定書および実施に係る責任体制が分かる資料、説明会・見学資料
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	2	実習承諾書、講義概要、企業実習報告書、連携実務実習に係る実施計画・実施予定書および実施に係る責任体制が分かる資料、インターンシップに関する資料
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）			
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	成績評価に関する規程、授業科目履修規程、学生便覧、進級基準・卒業基準、判定会議議事録
3	3	2	学生や保証人等（父母等）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	成績評価に関する規程、授業科目履修規程、学生便覧、進級基準・卒業基準、判定会議議事録

3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	成績評価規程、シラバス、判定会議議事録、科目ごとの成績表
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	2	成績評価規程、シラバス、判定会議議事録、連携企業等との会議録、連携科目の成績表
3	4	中 項 目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)			
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	4	目標資格・検定試験一覧、シラバス、科目概要、成績証明書、卒業証明書、カリキュラムマップ、学習計画、試験対策計画
3	5	中 項 目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)			
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	企業との協定書等、シラバス、キャリア教育に関する教育計画書、実施要項、新入生ガイダンス資料、目標設定シート、職種説明会実施要項、見学会実施要項
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	シラバス、講義概要、連携授業計画書、報告書、出前ガイダンス・授業等の資料

①現状・課題

3-1：教育理念、教育目的および人材育成像に沿った教育課程編成を行い学生便覧へ明記している。

3-2：教育方法、評価等は、適正に行われている。カリキュラムは、教育課程編成委員会にて外部委員より意見を頂き内部教員で編成協議を行っている。評価基準や方法についてはシラバスに明記しており学生へ周知している。また、評価基準に照らして成績判定会議において評価を認定している。

3-2-82：産学連携によるインターンシップ、実技・実習等については、本学校のカリキュラム編成には該当しないため、実施していない。 ※評価欄は「－」としている

3-2-84：1年生の希望者のみインターンシップ参加を実施している。

3-3：成績評定・単位認定等について規定を明確に定め、学生や保護者へ周知している。判定についても基準に則り適正に実施している。

3-3-4：公務員受験を目指す学科の特徴として職業実践専門課程の専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、職場見学や説明会は実施しているが、学生の学修成果の評価には至らない。

3-4：目標資格は明確であり取得に向けての指導体制も構築されている。

3-5：各官庁や自治体等による説明会、及び見学会を実施している。また、複数の高等学校と連携してキャリア教育・職業教育の取組を実施している。

③ 今後の改善方策

3-2-82：希望者が各自治体の主催するインターンシップに参加できるよう、学内規則を定める。

3-2-84：企業見学として、北海道警察、自衛隊、刑務所、北海道庁での見学会を実施し、職業意識を高めるイベントを行っているが、更に多様な見学先を検討する。

3-3-4：カリキュラムに組み込めるような内容を各自治体等と連携をして実施できるよう検討する。

③特記事項

4 学修成果・教育成果				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
4	1	中 項 目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)			
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	修了試験成績一覧、期末試験成績一覧、前期成績一覧、期末成績一覧
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	B	4	成績評価基準、成績評価方法、科目シラバス
4	2	中 項 目	就職率(就職率の向上が図られているか)			
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	4	就職関連指導シラバス、就職実績報告書、公務員合格一覧表及び最終決定先、面接評価票
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	4	事業計画書、学校部署目標、会議資料、中期学校計画表
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	就職活動報告書、受験報告書
4	2	4	部外者に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP 等)	A	-	パンフレット、HP
4	3	中 項 目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)			
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか	A	4	資格試験結果報告書、資格・検定試験取得率の履歴、合格率

						一覧表・対比表、検定試験結果綴り
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	目標資格・検定一覧、シラバス
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	教職員全体会議資料、中期学校計画表
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	公務員試験結果比較表、検定試験結果報告書
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	B	4	パンフレット、HP
4	4	中 項 目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)			
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	2	卒業生調査、企業アンケート、企業等訪問記録、就職担当者等訪問記録、研修会の実施要項

①現状・課題

4-1：科目評価基準は明記されており履修者へ周知されている。基準に沿った評価を行い、前後期終了時に成績判定会議にて確定している。

4-2：学生が提出する受験報告書にて就職活動を把握している。提出された報告書を基に試験分析を図り、次年度以降の学生へ状況提供している。

4-3：中期学校計画にて合格率目標を立て、単年度毎の年度施策内容について検討し、教員間で共有を行っている。

4-4：クラウド型会員管理システムに卒業時に登録してもらい、学校からの情報提供や卒業生からの情報収集に活用しているが、卒業生からの反応が少なく苦慮している。

④ 今後の改善方策

4-4：手軽に確認（やり取り）出来る方法を再検討し、上記システムから別の方法を検討する。

③特記事項

5 学生支援			カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例	
5	1	中 項 目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)			
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	学生カルテ、学生指導履歴、個別相談表、修学支援の一環としての奨学金に関する HP、奨学金説明会資料
5	2	中 項 目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)			
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人等(父母等)に周知されているか)	A	4	学生便覧、オリエンテーション資料、新入生ガイダンス資料、保護者ガイダンス資料
5	3	中 項 目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)			
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	4	学生便覧、オンライン健康相談カード
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	学生面談記録、個別面談シート、学生カルテ、学生指導記録
5	4	中 項 目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)			
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	募集要項、奨学金説明会資料

5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	4	健康診断案内、年間行事予定表、学校医がいることを示す資料、健康相談窓口の案内
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	課外活動(地域活動・部活動等)の記録、部活動の実績の記録
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	4	募集要項、説明会記録、HP
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)			
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	4	退学防止の取組み記録、退学状況の分析と対策記録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	事業計画書、学校部署目標
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	事業計画書、学校部署目標、会議資料
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	HP、職業実践専門課程 報告様式
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)			
5	6	1	保証人等(父母等)と適切に連携しているか(保証人等のニーズを把握しているか)	A	4	保護者面談記録、保護者会報告書、学生報告書内保護者対応記録
5	6	2	保証人等(父母等)との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	保護者面談記録、保護者会報告書、学生報告書内保護者対応記録、保護者懇談会資料
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)			
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	4	同窓会会則、受験報告書

5	7	21	卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	4	パンフレット、HP、研修要項案内、科目履修生制度
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	パンフレット、HP

①現状・課題

5-1：学生指導や特殊な事情を持つ学生について、情報共有が行われている。奨学金については担当者を配置し、希望者への全体説明会やその後の個別対応を丁寧に行っている。

5-2：就職支援（公務員合格支援）に関する内容を、新入生ガイダンスで説明し、合格までの目標設定を行い、振り返り・反省をさせながら、常に合格への意識向上を図っている。また、保護者へは入学式後の保護者ガイダンスにて受験指導対策として細かく説明している。

5-3：オンライン健康相談窓口が設置され学生へ周知されている。

5-4：奨学金に関する説明会やインフォメーションを行い、学費に関しての相談について担当者を配置している。また、健康診断実施のほか、オンライン健康相談窓口を設置している。

5-5：学校及び学科として目標設定を行い、段階的に面談を実施するなど具体的施策を検討して取り組んでいる。

5-6：学生動向について保護者と情報共有して連携を図っている。また、保護者懇談会及び三者懇談会を実施している。

5-7：卒業後の支援として、科目履修生制度を設け公務員受験再チャレンジを支援している。

②今後の改善方策

③特記事項

6 教育環境				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス例
6	1	中 項 目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)			
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	4	学校設置認可申請書、教室配置図、時間割、教室配置図、時間割、専修学校報告書
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	資産目録、図書
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	各種設備・教育備品の一覧表、及び点検票、管理体制の組織図
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	掲示物、学生便覧
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	教室清掃チェックリスト、環境整備チェックリスト
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	施設・設備の点検、補修計画書、点検・修繕の記録、電気設備点検記録報告書、建築物環境衛生管理報告書
6	2	中 項 目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか)			
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	4	学外実習時の実施要綱・マニュアル、インターンシップに関する資料
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	実習指導ガイドライン、インターンシップ参加心得、学生便覧

6	3	中 項 目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)			
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	危機管理マニュアル、気象警報による急行等の取り扱いガイドライン
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	4	消防用設備点検報告書、警備業務請負契約書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	防災訓練実施要綱、シェイクアウト報告書
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	設備管理者の一覧表、各種設備の定期点検表、危機管理マニュアル

①現状・課題

6-1：教育上の必要性に十分対応できるよう適正に整備されている。

6-2：インターンシップについて、任意参加ではあるが、学生向け案内資料やインターンシップ参加心得、学生推薦書等の資料整備を行い実施している。

6-3：危機管理マニュアルを策定し、防災・安全管理に努めている。また、避難訓練やシェイクアウトを実施し有事に備える取組を行っている。

②今後の改善方策

③特記事項

7 学生の受入れ募集				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
7	1	中 項 目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学 者選抜を行っているか。 社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にして いるか)			
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われてい るか	A	4	募集活動体制組織図、営業日 報、パンフレット、OC 用説明資 料、募集要項、学校案内、HP
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ ポリシー)を策定し、学校構成員(教職 員および学生等)に周知し、社会に公 表しているか	A	4	アドミッションポリシー、募集要 項、パンフレット、公式 Web サ イト
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指 す資格・免許等をわかりやすく紹介し ているか	A	4	パンフレット、HP
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正 かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	募集活動体制組織図、営業日 報、学生募集要項、学校案内 (パンフ)
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に 対応できる体制ができているか	A	4	校務分掌、HP、組織図
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成 人材像、評価手段及びその基準、目 指す資格・検定・コンペ、学費・教材費 等の情報)を行っているか	A	4	OC 配付資料、説明会資料、 HP、募集要項
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等 は行われているか	B	4	入学前教育の資料
7	2	中 項 目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)			

7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	4	募集要項、学校案内
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	4	入試基準、選考方法、選考における実施体制、選考結果資料
7	3	中 項 目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)			
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	募集要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	4	パンフレット、募集要項

①現状・課題

7-1：オープンキャンパス、学校説明会など行いパンフレットに明記された学科の人材育成像、特徴、目指す資格やアドミッションポリシーについて伝えている。また、入学が決定した者には、3月初旬よりeラーニング教材を活用し、入学前学習を実施している。

7-2：入試についてパンフレットに選抜方法を明記し、公正かつ適切に実施している。

7-3：学納金について社会情勢を含めた検討を行い適正に算出している。募集要項に初年度の教材費を含めた金額を明記している。

②今後の改善方策

③特記事項

8 教育の内部質保証システム				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
8	1	中 項 目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)			
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	4	コンプライアンス研修報告書、 教務日誌、専修学校設置基準 チェック表
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	組織図、校務分掌表、内部規定類
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	4	ハラスメント防止規程、危機管理規程
8	2	中 項 目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)			
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	個人情報保護規程、プライバシーポリシー、セキュリティポリシー
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	個人情報保護規程、個人情報取扱規程
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	教員研修会資料、講師交流会資料
8	3	中 項 目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)			
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	自己点検・評価報告書、改善計画、改善報告書

8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか (自己点検・評価報告書があるか)	A	4	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	自己点検・評価委員会組織図、 校務分掌表
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取り組みを行っているか	B	4	学校関係者評価委員会議事録、委員会名簿
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)			
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	教職員会議議事録
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	2	卒業生就職・離職状況調査報告書、改善計画書
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	改善計画
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	改善計画
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	改善計画、学校関係者評価委員会資料
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	改善計画
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)			
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	職業実践専門課程別紙様式4、HP
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	4	自己点検・評価報告書、HP
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	学校関係者評価報告書、HP

①現状・課題

8-1：専修学校設置基準等を遵守し、規定により適正に運営している。

8-2：個人情報保護規定により適正に対応している。

8-3：自己点検・評価を実施。学校関係者評価委員会にて報告及び改善策について意見交換を行い学科にて改善策を検討・実施している。

8-4：職員会議にて全教職員へ周知している。卒業後動向把握については、十分とは言えない。

8-4-2：クラウド型会員管理システムを活用し、動向把握に務めているが、卒業生からの反応が悪く上手く情報収集出来ていない。

8-5：教育情報について全て HP 上に公開している。

②今後の改善方策

8-4-2：別の管理システム等を活用し卒業生の動向把握に努め、教育活動の改善に活用する。

③特記事項

9 財務				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
9	1	中 項 目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)			
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために 必要かつ十分な財政的基盤を確立し ているか	A	4	財産目録、貸借対照表、資金 収支計画書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されている か	A	3	全体予算書、中期計画書
9	2	中 項 目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、 適正に執行管理を行っているか)			
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なも のとなっているか	A	4	予算書、理事会議事録、評議 員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管 理を行っているか	B	3	収支計算書、予算執行表、月 次予算チェック表
9	3	中 項 目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)			
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適 切に監査を実施し、理事会、評議員会 に報告しているか	A	4	会計監査報告書
9	4	中 項 目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用してい るか)			
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切 に公開しているか	A	4	財務諸表、HP、財務情報公開 規程
9	4	2	財務情報の公開について、ホームペ ージに公開するなど積極的に取組ん でいるか	B	4	HP

①現状・課題

9-1-1：定員充足が目標数に達しなかったため、収支バランスに影響が生じている。学納金に依存した収入構造においては、学生数の変動が財政に与える影響は大きく、固定費に加えて変動費も含めた経常支出全体の見直しが必要である。中長期的な視点での財務の安定性の確保に課題を感じる。

9-2：予算要求や執行内容に対する効果・目的の検証が十分に行われておらず、実績を見直す機会が期末に偏っているため、予算執行の適切性が確認されにくい状況にある。期中の進捗確認や予実管理の仕組みが不十分であり、財務状況の共有や改善に向けた対話が活発に行われている状況ではない。これにより、収支計画の実効性や精度にも課題が残る。

9-3：監査の目的や重要性が教職員全体に浸透されていない。予算執行時の決裁手順や会計処理等について、明文化や説明が不十分・ルールが全職員に徹底されていないなど、運用の一貫性については改善の余地がある。

9-4：財務情報はホームページで公開されており、関係者に対して透明性を担保している。閲覧者の理解を促すために、学校法人会計と企業会計との違いや注釈を添えるなどの配慮も行っており、情報公開の取組は適切である。

ただし、公開された情報が職員間で十分に共有されているとは言えず、学校・学園全体としての財務意識の醸成という観点からは改善の余地もある。今後、学校全体での財務への関心と責任感を高めていく必要がある。

②今後の改善方策

9-1：学科ごとの定員充足に向けた広報戦略の強化と並行して、収支構造を精査し、固定費・変動費を含めた経常支出の見直しを進める。損益分岐点を意識した収支管理を徹底し、学納金依存からの脱却を視野に、持続可能な財務体制を構築する。

9-2：月次・四半期単位での予算執行状況の点検と報告を制度化し、財務状況の可視化を図る。過去実績に基づいた積算と見積根拠の明確化を通じて、収支計画の精度向上を目指す。さらに、柔軟な予算修正が可能となるよう、運用フローの整備も進める。

9-3：監査の意義を教職員に周知・共有するため理解を求めたい。
財務管理（物品・金銭など）や決裁手順に関するルールを明文化・周知徹底することで、財務執行の妥当性と透明性を高める。

9-4：財務情報の公開内容を職員にも定期的にフィードバックし、教職員が経営状況を理解・把握できるようにしたい。財務の透明性を対外的にも校内的にも高めていく。

③特記事項

「中期計画 2025」の最終年度である 2025 年度を迎えるにあたり、2021 年度から 2024 年度までの財務基盤・収支状況を見直す。内部統制とリスクマネジメントの充実に関して、組織の再構築と職員の意識改革を検証・定着させる節目とする。

10 社会貢献・地域貢献				カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
10	1	中 項 目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)			
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	年間行事予定表、利用案内、利用の記録
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	4	公共職業訓練等受託契約書、年間計画表、高校生向け講習会資料、講習会計画表
10	2	中 項 目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)			
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	ボランティア活動支援体制に関する資料

①現状・課題

10-1：近隣高校のみならず、全道各地の高校生向けの講習会を、1年を通じて実施している。対面講習会及びオンライン講習会を同時開催している。また、依頼があればキャリア教育の一環として各地に公務員ガイダンスに出向いている。

10-2：春季は緑の募金(街頭募金)、夏季は市民マラソンである北海道マラソン給水スタッフとしてボランティア活動を実施している。また、姉妹校と連携を取りながら地域の清掃活動を実施している。

②今後の改善方策

③特記事項

11 国際交流(必要に応じて)			カ テ ゴ リ ー	適切・・・4、 ほぼ適切 ・・・3、 やや不適 切・・・2、不 適切・・・1	エビデンス例
11	1	中 項 目	留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)		
11	1	1	A	—	事業計画書、校務分掌表
11	1	2	A	—	入管提出書類一式、学籍、管理体制組織図、旅行傷害保険、リスク回避マニュアル
11	1	3	A	—	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
11	1	4	A	—	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか
					留學生活の手引き、組織図
					留學生活の手引き、HP、JLPT取得率、資格試験取得率、就職率、進学率

①現状・課題

11 においては、本校は留学生受け入れが不可能な学科のため評価出来ない。

②今後の改善方策

③特記事項